

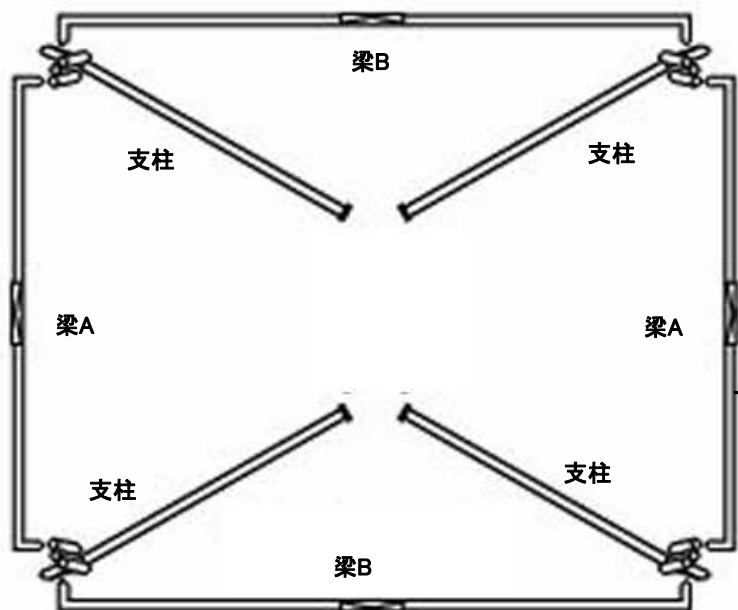
納涼祭会場設営要領 人工芝・コンパネの敷設



納涼祭会場設営要領 テント・テーブルなどの配置

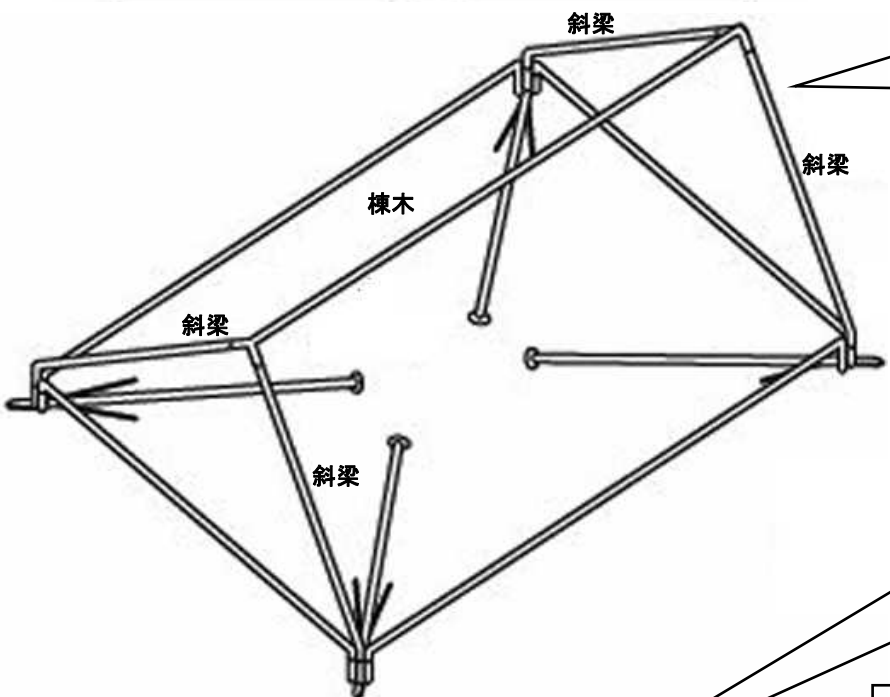


納涼祭会場設営要領 テントの立て方



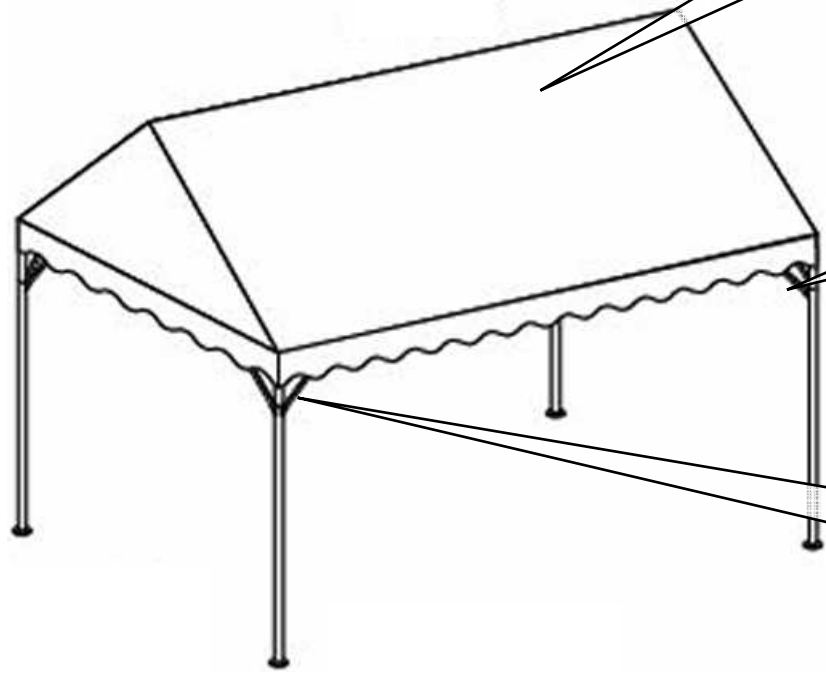
①支柱4本をこのように並べる
脚の折れた向きに注意

②支柱に梁を差し込む
梁の長さに注意
梁A < 梁B



③棟木と支柱の差し込みの間に、斜梁を差し込み「屋根」を作る
斜梁は、全て同じもの

④天幕を被せて、支柱の本数分=4人が天幕の中に入る。
天幕の固定ひものうち、棟木部分(屋根の頂上)だけを縛る



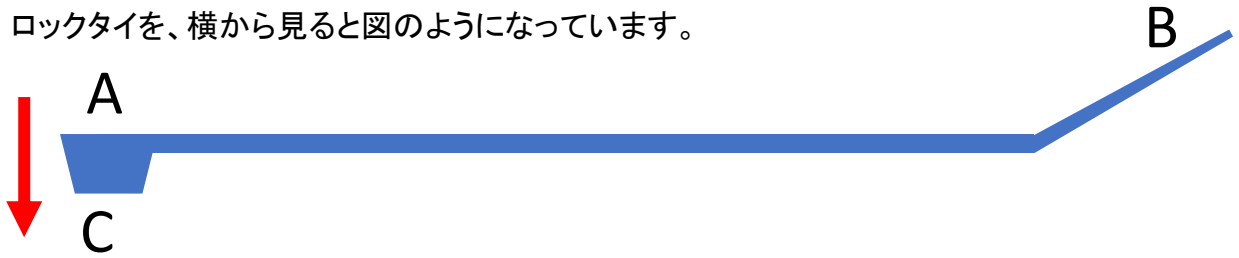
⑤支柱1本に1人ずつ付いて、支柱を持ち上げて、一気に支柱を立てる。
この時、梁を持つと外れてしまうので注意する。ロック金具を確認する

⑥支柱の補強金具を止め、天幕の固定ひもを、梁に結び付ける

会場設営要領 ロックタイの使い方

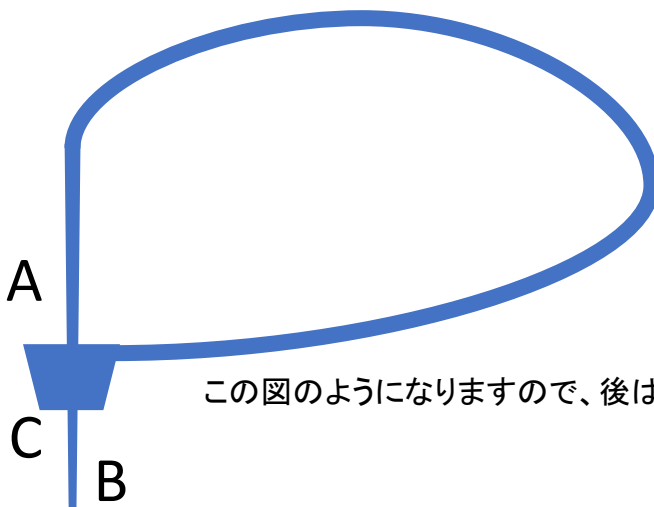
○ロックタイとは

ロックタイは、元々は、電気配線を束ねるためのものです。
通常のは、一度、締めると抜けたり、緩んだりすることがありません。
ロックタイを、横から見ると図のようになっています。



○ロックタイの締め方

ロックタイには、ベルト部分を差し込む”向き”があり、間違えると固定できません。
ベルトの先端[B]を、[A]から[C]の方向に差し込みます。

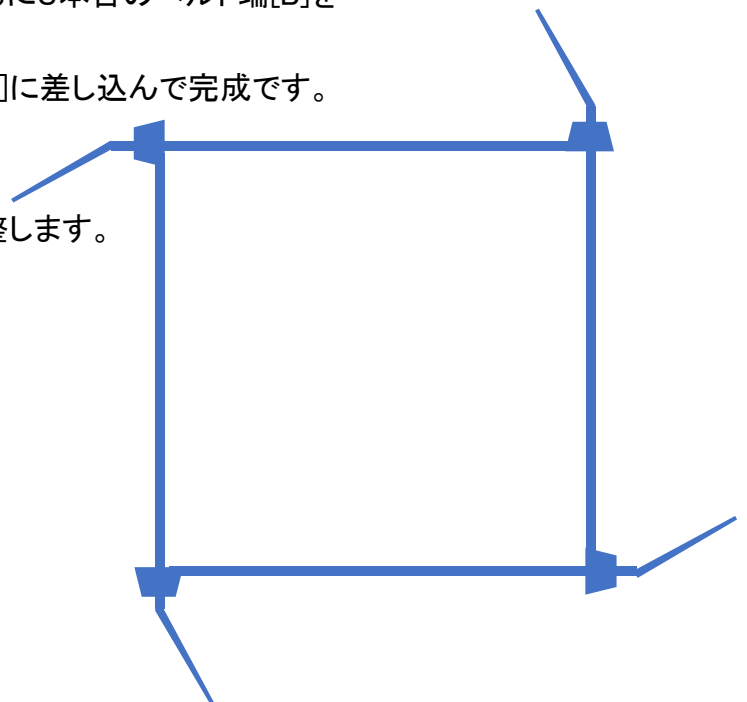


この図のようになりますので、後は、先端[B]を引っ張って調整します。

○長さが足りない場合

ロックタイで固定したい場所が、1本では届かない場合は、つなぎ合わせます。
この図は、4本のロックタイをつなぎ合わせた場合の図です。
1本目のロックタイのベルト端[B]を、2本目の[A]に差し込み、
2本目のベルト端[B]を3本目の[A]に、さらに3本目のベルト端[B]を
4本目の[A]に差し込みます。
最後に、4本目のベルト端[B]を1本目の[A]に差し込んで完成です。

後は、適当なベルト端[B]を引っ張って調整します。

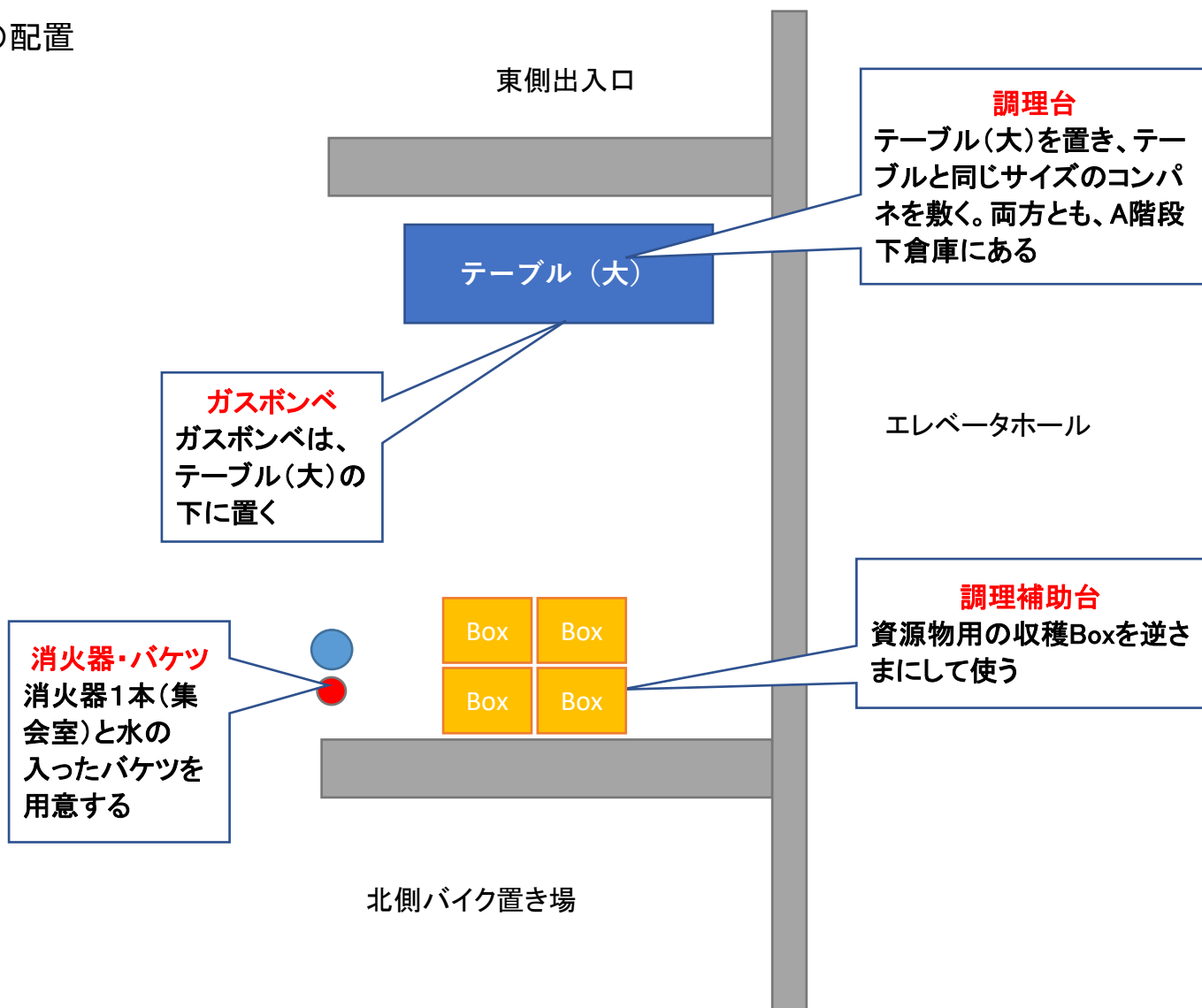


○ロックタイの外し方

外しときは、ニッパーで切って外します。
切ったものは再利用できないので、
やり直す場合は、新しいものを使います。

納涼祭会場設営要領 1階屋外調理場

○配置



○ガスバーナー・鉄板の配置

テーブル(大)の上に、ガスバーナーと鉄板を2組 写真のように並べる

バーナーは高カロリータイプを使用する (ガスホースといっしょに1階倉庫にある)

テーブル (大)、コンクリートブロック、レンガはA階段倉庫に専用のものが確保されている

